

地方創生加速化交付金事業の実施結果

事業評価

1. 総合戦略の目標達成に非常に有効であった。
2. 総合戦略の目標達成に有効であった。
3. 総合戦略の目標達成に有効とは言えない。

計画(PLAN)			実施(DO)		評価(CHECK)					改善(ACTION)				
No	事業名	事業内容	交付金の種類	実績額	実施結果	本事業におけるKPI・課題・主な事業費(単位:千円)					外部有識者からの評価		今後の取組	
				単位:円		指標	基準値	前年度実績値	実績値	目標値	最終目標値	事業評価		意見
1	いわで観光プロモーション事業	まちの活力維持を図るため、市・県外からの交流人口の増加を目的として、地方創生加速化交付金を活用し、市制施行10周年を記念した各種事業や、既存事業の内容を充実・拡大した以下の事業を実施。 グリーンツーリズムイベント事業 いわで観光振興講演会事業 いわで観光プロモーション整備事業	加速化交付金	4,997,347	著名人による環境記念講演や、ゲストランナーを招いてのマラソン大会等により交流人口が増加し、市内外の多くの方に岩出市をPRする機会をつくることできた。 音響機器等の機器の整備により、平成28年4月にオープンした旧和歌山県議会議事堂「一乗閣」の活用についても活用の幅が広がるなど、市の観光拠点としての機能充実に効果を発揮した。	本事業におけるKPI	基準値 H26	前年度実績値 H27	実績値 H28	目標値 H28	最終目標値 H31	2. 総合戦略の目標達成に有効であった。	根来街道グリーンツーリズム振興協議会との共催により、市外や県外からの参加者も多くあった。 旧和歌山県議会議事堂を、観光資源としての有効利用と岩出市の文化的資材として市民が一体となって維持する機運を高めることができた。 国の重要文化財に指定されたことをきっかけとして有効活用をさらに検討する必要がある。 購入した音響設備品とデジタルサイネージは、今後の事業で有効に利用することが大切である。	ランナーに人気のあるハーフマラソン等のコースが設定できるか検討する。 いわで夏まつりの事前広告を、さらに広く県内外に向けて行う。夏まつりの会場においては、岩出市の魅力を発信できる催しを実施する。 平成28年に設立された民間団体「ねごろ歴史の丘」観光推進協議会と連携し、引き続き催しを企画していく。
指標	観光客入込数	796,955人	1,030,896人	1,267,106人	1,000,000人	1,500,000人								
課題	例年継続して実施している「いわで夏まつり」や「岩出マラソン大会」において、この効果を平成29年度に反映させていくこと。 道路整備や住宅開発など、都市化が進む本市において、自然環境の保全や市の歴史・文化などへの関心を高めるためのPR、また、市内だけでなく県内・県外の広域を視野に入れた連携体制も重要。													
						主な事業費(単位:千円)	グリーンツーリズムイベント事業 環境特別記念講演会「ギョギョッと美(び)っくりお魚と水のおはなし!」、親子エコクッキング教室、環境講演会の開催 (2,219千円) いわで夏まつり補助事業 (1,000千円) 岩出マラソン大会補助事業 (832千円) いわで観光振興講演会事業 (232千円) いわで観光プロモーション整備事業 (714千円)							
2	紀の川エリアおもてなし観光サイクリング推進事業	観光サイクリングの推進による地域振興を進めている中、サイクリストの訪問増加を図る。 サイクリストに何らかのサービスを行う「サイクリストおもてなし店」の認定。観光客にも手軽にサイクリングを楽しんでもらうための拠点新設。レンタサイクルの利用促進と「サイクリストおもてなし店」を周遊してもらうことを目的としたイベントの開催。 事業PRのため、サイクリングMAPの作成、自転車関連展示会での広報展開。	加速化交付金	4,080,000	「サイクリストおもてなし店」の設置18店。「ねごろ歴史の丘」にレンタサイクルの拠点新設、レンタサイクルの利用者は175名。 イベントの開催として「サイクルトレインと戦国わかやま周遊サイクリング」、「食べちゃえ!きのかわ」紀の川サイクリストおもてなしスポット”ぐるりんラリー”を実施。 サイクルモードインターナショナル、名古屋サイクルトレンド、サイクルモード大阪に出展しサイクリング事業のPRを実施。 事業の実施、PRの効果により、地域振興や観光振興に効果があった。	本事業におけるKPI	基準値 H26	前年度実績値 H27	実績値 H28	目標値 H28	最終目標値 H31	2. 総合戦略の目標達成に有効であった。	サイクリングイベントの参加者は紀の川エリア以外の方も多く、紀の川エリアの観光資源・街中の商店の宣伝に効果が見られた。 レンタサイクル事業とも連携し、公共交通機関の少ない地域での観光を推進する基盤を作ることができた。	市ホームページやSNS、紙媒体の広告、または旅行代理店へのプロモーション活動など、あらゆる方法を使って、レンタサイクルを含めたPRを行い、利用促進を図る。
指標	サイクリストおもてなし店	0店	0店	18店	20店	40店								
	レンタサイクル利用者数	83人	101人	175人	170人	250人								
						課題	レンタサイクルについては、利用者の評価は高いものの、現在のところ利用頻度が高いとは言えない状況。							
						主な事業費(単位:千円)	サイクリストおもてなし関係 (495千円) レンタサイクルの整備 (2,460千円) 走行イベント関係 (79千円) サイクリング事業のPR関係 (1,046千円)							
3	和歌山の新たな魅力発見「戦国わかやま」推進事業	戦国を切り口としたテーマ・ストーリー性のある広域観光周遊ルート「戦国ルート」を構築することで、魅力的な観光コンテンツ「戦国わかやま」を確立し、紀北地方一帯が面的に活性化し維持可能な観光地づくりを目指す。 和歌山県の玄関口として、「戦国わかやま」のPRを行うとともに、史跡根来寺への誘客推進、戦国ルートへの誘客を促進するための事業を実施する。	加速化交付金	16,498,533	観光プロモーション事業、語り部育成事業、地場産品活用創出事業、シャトルバス運行事業、戦国わかやまキャンペーン事業を実施することにより、岩出市のPRや団体客の受け入れ体制の整備、イベント参加者への利便性と集客促進が図られた。	本事業におけるKPI	基準値 H26	前年度実績値 H27	実績値 H28	目標値 H28	最終目標値 H31	2. 総合戦略の目標達成に有効であった。	紀北地方一帯を活性化することを目的としているが、本事業をきっかけに岩出市の歴史的観光資源をPRすることができた。 継続して誘客するための方策を検討すると同時に、他の事業との連携により市民にも広く情報発信することが必要である。	平成28年に設立された民間団体「ねごろ歴史の丘」観光推進協議会と連携し、モデルルートの提示を行うと共に、交通機関の充実及び情報提供を行う。
指標	観光客入込数	796,955人	1,030,896人	1,267,106人	1,000,000人	1,500,000人								
課題	戦国わかやまキャンペーン事業については、事業そのものによる集客効果は得られたが、これをきっかけに日頃の観光ルートとして認知してもらうことが必要。													
						主な事業費(単位:千円)	観光プロモーション関連事業 (15,050千円) 戦国わかやまキャンペーン事業 (1,448千円)							